

第40期 計算書類

〔 2018年4月 1日から
2019年3月31日まで 〕

貸 借 対 照 表
損 益 計 算 書
個 別 注 記 表

浜銀ファイナンス株式会社

貸借対照表

(2019年3月31日 現在)

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	124,040	流動負債	71,185
現金及び預金	20,798	支払手形	181
割賦債権	22,066	買掛金	3,871
リース債権	6,164	短期借入金	27,802
リース投資資産	62,524	1年内返済予定の 長期借入金	19,695
賃貸料等未収入金	324	未払金	258
営業貸付金	2,878	未払費用	117
買取債権	7,385	未払法人税等	99
貯蔵品	39	賃貸料等前受金	868
前渡金	19	預り金	17,313
前払費用	421	割賦未実現利益	890
未収収益	84	賞与引当金	80
未収入金	899	その他の流動負債	6
その他の流動資産	639		
貸倒引当金	205		
固定資産	7,582	固定負債	43,348
有形固定資産	1,527	長期借入金	42,380
賃貸資産	1,435	繰延税金負債	486
建物付属設備	0	退職給付引当金	179
什器備品	92	その他の固定負債	301
無形固定資産	200	負債合計	114,533
賃貸資産	0	純資産の部	
ソフトウェア	197	株主資本	15,031
電話加入権	2	資本金	200
投資その他の資産	5,854	利益剰余金	14,831
投資有価証券	5,010	利益準備金	50
関係会社株式	327	その他利益剰余金	14,781
固定化営業債権	864	別途積立金	7,500
その他の投資	150	繰越利益剰余金	7,281
貸倒引当金	499	評価・換算差額等	2,057
		その他有価証券評価差額金	2,057
資産合計	131,622	純資産合計	17,089
		負債・純資産合計	131,622

(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

損益計算書

自 2018年 4月 1日

至 2019年 3月31日

(単位：百万円)

科目	金額	
売上高		
リース売上高	25,158	
割賦売上高	8,794	
営業貸付収入	68	
代金回収収入	1,151	
ファクタリング収入	108	
その他の売上高	12	35,293
売上原価		
リース原価	23,036	
割賦原価	8,403	
資金原価	279	
代金回収原価	473	
その他の売上原価	0	32,193
売上総利益		3,100
販売費及び一般管理費		1,959
営業利益		1,141
営業外収益		
受取利息及び配当金	82	
貸倒引当金戻入益	68	
償却債権取立益	1	
その他	40	193
営業外費用		
支払利息	13	
その他	6	20
経常利益		1,314
税引前当期純利益		1,314
法人税、住民税及び事業税	294	
法人税等調整額	98	392
当期純利益		921

(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

個別注記表

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- | | | |
|--------|-----|--|
| 関連会社株式 | ・・・ | 移動平均法による原価法によっております。 |
| 其他有価証券 | ・・・ | 原則として、期末日の市場価格等に基づく時価法によっております。また、売却原価は移動平均法により算定しております。(評価差額は全部純資産直入法により処理しております。)
ただし、時価を把握することが極めて困難と認められるものについては、移動平均法による原価法によっております。 |

(2) デリバティブの評価基準及び評価方法

デリバティブ取引の評価は、時価法により行っております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

賃貸資産

リース期間を償却年数とし、リース期間満了時の処分見積額を残存価額とする定額法(リース期間定額法)を採用しております。

建物付属設備及び什器備品

定率法(ただし、2016年4月1日以後に取得した建物付属設備については定額法)を採用しております。主な耐用年数は、4~6年であります。

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、利用可能期間(5年)に基づいて償却しております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率等により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。なお、固定化営業債権については、債権額から回収が不能と認められる額を直接減額しており、その金額は45百万円であります。

(2) 賞与引当金

従業員に支給する賞与の支払いに備えるため、翌期支給見込額のうち当事業年度に帰属する額を計上しております。

(3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における自己都合退職による要支給額を計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

(1) リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引に係る売上高及び売上原価の計上基準

リース契約期間に基づくリース契約上の收受すべき月当たりのリース料を基準として、その経過期間に対応する売上高および売上原価を計上しております。

オペレーティング・リース取引の売上高の計上基準

リース契約期間に基づくリース契約上の收受すべき月当たりのリース料を基準として、その経過期間に対応するリース料を計上しております。

(2) 割賦販売取引に係る売上高及び売上原価の計上基準

割賦販売取引は、商品の引渡時にその契約高の全額を割賦債権に計上し、支払期日到来の都度、割賦売上高およびそれに対応する割賦原価を計上しております。なお、期日未到来の割賦債権に対応する割賦未実現利益は、繰延処理しております。

(3) 金融費用の計上方法

金融費用は、営業収益に対応する金融費用とその他の金融費用を区分計上しております。その配分方法は、総資産を営業取引に基づく資産とその他の資産に区分し、その資産の期中平均残高を基準として営業資産に対応する金融費用は資金原価として営業費用に、その他の資産に対応する金融費用を営業外費用に計上しております。なお、資金原価は、営業資産にかかる金融費用からこれに対応する預金の受取利息を控除して計上しております。

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

(1) ヘッジ会計の方法

ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理を採用することとしております。

なお、特例処理の要件を満たしている金利スワップについては、特例処理を採用しております。

ヘッジ手段とヘッジ対象

<u>ヘッジ手段</u>	<u>ヘッジ対象</u>
金利スワップ	借入金

ヘッジ方針

デリバティブ取引に関する権限規定を定めた内部規程に基づき、ヘッジ対象に係る金利変動リスクを一定の範囲内でヘッジしております。

ヘッジ有効性の評価方法

ヘッジの有効性の評価は、原則としてヘッジ開始時から有効性評価時点までの期間において、ヘッジ対象の相場変動又はキャッシュ・フロー変動の累計とヘッジ手段の相場変動又はキャッシュ・フロー変動の累計とを比較し、両者の変動額等を基礎にして判断することとしております。なお、特例処理の要件を満たしている金利スワップについては、有効性の評価を省略しております。

(2) 消費税等の会計処理

消費税および地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。ただし、資産に係る控除対象外消費税等は発生事業年度の期間費用としております。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を当事業年度より適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しております。

貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額

貸貸資産	45,675 百万円
建物付属設備	0 百万円
什器備品	<u>159 百万円</u>
計	45,835 百万円

2. 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

短期金銭債権	20,766 百万円
短期金銭債務	37,567 百万円
長期金銭債務	25,539 百万円

税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産	
貸倒引当金	185 百万円
有価証券償却	99 百万円
減価償却超過額	90 百万円
退職給付引当金	53 百万円
賞与引当金	24 百万円
未払事業税	6 百万円
その他	12 百万円
繰延税金資産小計	472 百万円
評価性引当額	101 百万円
繰延税金資産合計	370 百万円
繰延税金負債	
その他有価証券評価差額金	849 百万円
未収配当金	6 百万円
その他	1 百万円
繰延税金負債合計	857 百万円
繰延税金負債の純額	486 百万円

関連当事者との取引に関する注記

親会社及び法人主要株主等

(単位：百万円、%)

種類	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者 との関係	取引の 内容	取引金額	科目	期末残高
親会社	㈱横浜銀行	被所有 直接50.0 間接25.0	資金の借入	資金の借入	52,767	短期借入金	23,802
						1年内返済予定の 長期借入金	13,677
						長期借入金	25,539
				利息の支払	207	未払費用	23
兄弟会社等	㈱東日本銀行	-	資金の借入	資金の借入	746	短期借入金	-
						1年内返済予定の 長期借入金	400
						長期借入金	100
				利息の支払	2	未払費用	0

(注)取引条件および取引条件の決定方針等

1. 資金の借入の利率は、市場金利を勘案して合理的に決定しております。
2. 資金の借入にかかる取引金額は、期中平均残高を記載しております。

1 株当たり情報に関する注記

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 1株当たり純資産額 | 42,723円88銭 |
| 2. 1株当たり当期純利益 | 2,304円20銭 |